

# 生誕200年 “スツペとオッフエンバック”

## プログラム

今年と同じ年に生まれ、共にオペレッタ(喜歌劇)で名を馳せた作曲家スツペとオッフエンバックの生誕200年に当たります。今日はこのふたりの作曲家の作品をたっぷりとお聴きいただきたいと思います。

スツペはベルギーの家系でオーストリアのダルマチア地方スパーラトで生まれました。少年時代にフルートを学び、13歳の頃和声学を勉強、14歳の時に地元のフランシスコ教会のためのミサ曲を作曲しました。その後ウィーンに移り、ウィーン音楽院のジーモン・ゼヒター、イグナーツ・ザイフリートに師事。43歳でアン・デア・ウィーン劇場、バーデン歌劇場の専属となり、ヨーゼフ、レオポルトシュタット劇場で指揮者として活躍。各劇場公演のために100曲以上の作品を作曲しウィーン風の優雅な雰囲気とイタリア風の明快な旋律は一世を風靡しました。オッフエンバックはドイツのケルンで生まれ、フランスで活躍、後にフランスに帰化しています。ユダヤ教会の先唱者を努めていた父から音楽の教育を受け、1833年にパリに出て音楽院でチェロを学びました。劇場の管弦楽団でチェリストとして働く一方、1835年作曲家ジャン・フランソワ・アレヴィを知り、作曲を習い始めます。1850年にテアトル・フランセの指揮者になるなどオペラ・コミック座の指揮のかたわら、作品を発表して行き、1858年の「天国と地獄」で人気が高まると、1864年の「美しきエレヌ」、1866年の「パリの生活」等で名声を確立して行きました。リズム、テンポ、旋律の面白さと親しみやすさ、熟練した管弦楽法は高く評価され、その影響は今日のミュージカルにまで及んでいると言われています。

\*\*\*\*\*

### フランツ・フォン・スツペ(1819~1895):

#### 喜歌劇「美しきガラテア」序曲

ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1969年録音 グラモフォン盤)

#### 喜歌劇「詩人と農夫」序曲

ハインツ・ワルベルク指揮ウィーン交響楽団  
(1976.5 ウィーン・ムジークフェラインサールでのLive)

#### 喜歌劇「軽騎兵」序曲

ハインツ・ワルベルク指揮ウィーン・トーンキユンストラ管弦楽団  
(1985.10.14 簡易保険ホールでのLive)

### ジャック・オッフエンバック(1819~1880):

#### チェロ協奏曲ト長調~第2楽章、第3楽章

オーフラ・ハーノイ(チェロ)/アントニオ・デ・アルメイダ指揮ボーンマス交響楽団  
(1995年録音 RCA盤)

#### 喜歌劇「天国と地獄(地獄のオルフェ)」序曲

シャルル・デュトワ指揮モンテリオール交響楽団  
(1993.1.18 ウィルフリッド・ペルティエホールでのLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

### ジャック・オッフエンバック(1819~1880):

#### 歌劇「ホフマン物語」 — フロロク~“クラインザックの歌”(ホフマン)/

第1幕“人形の歌”(オランピア)~ファイナル/第2幕“ロマンス(逃げてしまったの、きじ鳥は)”(アントニア)

第3幕“舟歌(美しい夜、おお、恋の夜よ)”(ジュリエッタ、ニコラウス)~六重唱/エピローク~ファイナル

ブラシド・ドミンゴ(テノール…ホフマン)/ナタリー・デッセイ(ソプラノ…オランピア)/バーバラ・フリットリ(ソプラノ…アントニア)

エリアーネ・ケルホー(メゾ・ソプラノ…ジュリエッタ)/ガブリエル・シーマ(メゾ・ソプラノ…ニコラウス)

ハンス・ツェドニク(テノール…ピキティナツヨ他)/プリン・ターフェル(バリトン…ダッベルトウット他)

クリスティアン・バデア指揮ウィーン国立歌劇場管弦楽団/ウィーン国立歌劇場合唱団

(1993.12.20 ウィーン国立歌劇場でのLive)

#### バレエ組曲「パリの喜び」(マニュエル・ロザンタール編曲)

ピンカス・スタインバーグ指揮オーストリア放送交響楽団  
(1996.1.16 ウィーン・コンツェルトハウス大ホールでのLive)